

一心不乱 一生懸命

1965年1月28日は真の御父母様が御来日されて50周年になります。早稲田留学時に21年後には再び帰ってくると、日本の若者を世界平和の精鋭隊として天にお捧げするという決意がありました。そして21年ぶりに日本に来られました。世界巡回路程の第一歩です。西川宣教師が7年間、真のご父母様を迎えたいと歩んだのです。日本の食口達を御父母様に会わせたいという一心でした。国境がない中でこのことでしたのでこれ以上うれしいことはありませんでした。日本の青年たちはどのような心情でお迎えたのでしょうか。真の御父母様にお会いしたいという恋しさでした。そして21年ぶりに日本語を使われてみ言を語られました。「この日本には打開しなければならない問題が多くある。経済問題でもなく政治の問題でもない。真理と日本の目的には大きな隔りがある。この1億を率いていく機関車のような人が必要。機関手は夜も昼も目的に向かって寝ることもできない。これが君たちの目的である」と語られました。西川宣教師はこの一日のために生きてきた心情ですと語られています。それほど感動の日であると感じるわけです。29日には下宿先を探しに行かれました。30日には聖地を決定されていきます。神様のもとで心情が連結されていけば国境は問題ありません。「先生は日本人である。日本を真に愛する人が日本人である」と語られました。それほど日本を愛されているという事です。誰の為に伝道するのか、それは自分の為にするのです。最低12名以上の霊の子を産まなければならないのです。これは蕩滅であり、神様の宴会に招かれるための礼儀です。基本の道理なのです。2月7日が御聖誕祭でしたので0時の祈禱があり徹夜をしました。これが真のお父様の最初の巡回の様子でした。そこで日本の食口に魂が入るようでした。全国125か所で夏季伝道大会が始まるのです。特別修練会も始まり、この年から爆発的な伝道がはじまりました。その後アメリカにいらっしゃるお父様から日本に手紙が来るのです。日本の食口をどう思っているのでしょうか。その心は今も変わっていないのです。現実的な心配も多くあります。しかし私たちの心が真のお父様にどのように一つになっていかなければならないのか考えなければなりません。

一心不乱 一生懸命、一番多く使っている言葉です。その言葉にふさわしい歩み、目標を持っていかなければなりません。その祈りが私たちにあるのか、考え直す必要があるのです。私たちの心が小さく、弱くなってはなりません。出来ない理由を探す人は実力があっても出来ないのです。私たちは真の父母様が私たちの道になっているので出来るのです。出来ない事を私たちは成してきました。目標を持ってやっていかなければなりません。お父様をもう一度迎えていきたい、そのような心が私たちの中になければなりません。浦和教会で迎えていきたい、そのためにはどのような準備が必要なのか、それがあれば役事が起きるのです。

本教会の礼拝に初めて参加された方を心から歓迎いたします
天の父母様と真の御父母様の祝福が共にありますようお祈り致します

1. お誕生日を迎えた食口の皆様、おめでとうございます。

2. 【50日精誠期間について】

基元節2周年を迎えるまで50日精誠期間
(2015年1月12日～3月2日)を取り組んでまいります。

3. 基元節2周年精誠訓読40日路程

基元節2周年を迎えるまでの40日間、神氏族的メシヤに対する真の父母様の願いを確認し、責任完遂の勝利的歩みを成すために出版された新しい御言で、訓読の精誠を捧ます。
期間:2015年1月22日～2015年3月2日(40日間)
条件:新刊書『祝福の絶対価値と神氏族的メシヤの責任完遂』
対象:全食口(個人)

4. 徳野会長特別集會

日時:2月4日(水) 10:30
場所:むさしのグランドホテル
感謝献金:1,000円(受付お渡し願います)

5. 心情文化発表会(小学生)

日時:2月7日(土) 13:00
場所:プラザウエスト さくらホール

6. 代々木聖地祈禱会(浦和教会の当番の日です)

日時:2月9日(月)
場所:代々木聖地

7. カウンセラー研修会

日程:2015年2月11日(木) 14:00～16:00
場所:浦和教会
講師:与那嶺正勝先生

8. 新春講演会

日程:2015年2月12日(木) 10:30
場所:さいたま市文化センター 小ホール
講師:与那嶺正勝先生

9. 第11回 清心会

日程:2015年2月13日(金) 10:30
場所:ベルヴィ武蔵野
講師:与那嶺正勝先生

【年頭標語】

創造主、天の父母様に似た、真の愛を実践する
天一国の真の主人になろう!



浦和教会

Holy Spirit Association For Unification
of World Christianity Urawa Church
世界基督教統一神霊協会

教区長: 李 炯燮 牧師

さいたま市南区南浦和1丁目23-12
Tel: 048-886-8774/Fax: 048-886-8797
E-mail: uc.urawa@gmail.com

日曜礼拝式次第



説教者：李 炯燮教区長

司会者：赤岩弘一

伴奏者：町田滋子

開	会	司会者
黙	禱	全 体
※聖	歌 聖歌 16番	全 体
※敬	拝	全 体
※家	庭 盟 誓	全 体
※年	頭 標 語	全 体
代	表 報 告 祈 禱	樫原尚美
聖	歌	聖歌隊
み	言 訓 読	全 体
説	教	我々はどこに向かうのか	
※聖	歌と献金 聖歌 20番	全 体
※祝	禱	執礼者
※全	体 祈 禱	全 体
お	知 ら せ	司会者
閉	会	司会者

～お願い～ ※印のある項目は、全員起立して進行いたします

『 生めよ、殖えよ、地に満ちよ 』

今週のみ言

天国は最初失敗した者たちを集めて慰める所ではない。最高の悪に対しての勝利者を集めて、それを誉め讃える所が天国である。わかりますか？今までの信仰観念とは根本的に違う。そういう信仰が我々に必要だ。…

日本がエバ国家として世界的に尽くさなければならぬ使命は何か。いくら何と言っても服従したら勝利である。100パーセント占領されれば100パーセント勝利する。…接ぎ木するのも3年かかる。男女合わせて一つになれば7年かかる。…男と女が会ってその日から良いということはない。食うのも話すのも見るのも聞くのも皆違うんだよ。会うと同時に等しくなるのではないんですよ。完全に愛し合えば完全に一つになる。…それで完全なプラスに対して、完全なマイナスとなれば一つになる。…そこまで君たちに原理は説明していないよ。先生の説明だ。…

先生は疲れた時でも寝なくとも済んでいる。そうなるのに10年以上かかるよ。時間になると腹が減るのに違いないのだけれど、腹が減らない。我々は世界で一番大きい戦争をするという、そういう自覚をする。日本によって世界が左右に移動し得る実態を体験する境地に入れば、眠りも支配し得る。空腹も支配し得る。それが問題ではない。明日には死刑台にのぼる。しかし君はこの一晩ちょっとでも眠らなかつたら、それを避けることができる。例えば、君は眠るかい？だから皆、まだ真剣じゃない。先生は何をやるにも真剣にやる。それが専門のように考える。

～ 日本統一運動史 p222～

統一運動

「真の父母様御来日50周年記念特別集会」を開催

文鮮明師ご夫妻が1960年に「聖婚式」を挙げられ、「真の父母」の立場で初来日されてからちょうど50周年を迎えた1月28日、教会本部礼拝堂で午前10時から「真の父母様御来日50周年記念特別集会」が行われました。登壇した徳野英治・日本統一教会会長は記念メッセージの冒頭、「真の父母様(文鮮明師ご夫妻)が初めて来日されてから50年間、無事に守られ日本統一教会が発展してきました。何よりも天の父母様(神様)と真の父母様に、50年間にわたる導きと真の愛に対して大きな拍手をしましょう」と呼び掛け、参加者一同が感謝の拍手を捧げました。その上で、徳野会長は「お父様(文鮮明師)が日本と初愛の因縁を結んだ」と語られたことを紹介。「その因縁を結んだのは、人として一番感受性の強い21歳ころの日本留学時代ではなかったかと想像できる」と述べました。

また、徳野会長は「終戦直後、韓国人が日本の官憲を追いかけ恨みを晴らそうとする中、お父様は体を張って自らを拷問した特高警察を守り、その家族まで日本に帰国できるよう配慮された」ことに言及。文鮮明師が誰よりも日本を愛し、そして日本を祝福されたことにふれ、「この御恩は日本人として絶対に忘れてはならない」と強調しました。



2015年 VISION

幸せな家庭 健康な教会
国家と世界に貢献する統一運動

2015年 活動指針

1. 訓読の伝統確立
2. 青年・学生伝道強化
3. 神氏族メシヤ責任完遂
4. 真の家庭国民運動展開